



社労士のつぶやき(99) 熱中症対策の義務化

「早く倉庫を拡張せんとあぁ」5 月半ば、機械メーカーの社長がこうつぶやきました。社長は今回、大きな工場や屋外など空調が行き届かない場所を冷却するスポットクーラーを大量に仕入れたのですが、その一時保管場所に困っていたのです。「営業先にチラシを渡すと飛ぶように注文が入るねん」とも。「えらい景気のエエ話ですねえ。そう言えばこの 6 月から企業の熱中症対策が義務化されたので、御社の工場でも気温測ったり社員教育せんといかんのですか」と社労士らしくエエそうにアドバイスすると、「何ぬかしとんねん！そのためにスポットクーラーの注文がいつぺんに入ったんや！それでテンヤワンヤになっとんやぞ！」と叱られてしまいました。冷房の効いたオフィスではあまり話題になりませんが、違反すると企業は 6 か月以下の拘束又は 50 万円以下の罰金に処せられるため、工場や建設現場の担当者は対策に大わらわになっているのです。

●熱中症対策の義務化

国際労働機構（ILO）は昨年、地球温暖化によるヒートストレスにより 24 億人が生命の危険にさらされ、20 年には推計 4,200 名が命を落としたと発表しました。最も影響を受けているのは農業で、次いで建設業、そして観光・交通産業と続いています。ILO は「暑熱対策のための早期警戒システムの開発や気温の国際基準作りに取り組み、労働者を保護すべき」と警鐘を鳴らしています。日本でも熱中症による死亡者はここ数年 30 人台で推移し、昨年の重症者は 1,195 名に達しています（厚労省発表）。今回の法改正は「熱中症の生じる恐れのある場所」で「連続 1 時間以上又は 1 日 4 時間超」の作業への対策が義務化されました。朝礼での説明やポスターの掲示、「ふらつきやめまいなどの症状を発症したりそのような人を発見した場合」は即座に対応し、責任者に連絡を取り医師に診察を仰ぐ等の手順を会社で決めておく必要があります。近年の熱中症による死亡者 103 名のうち 100 名が初期対応の遅れが原因だったため、予防と重症化防止に力点が置かれるようになりました。

暑さ寒さの体感是人それぞれですが、今回の法改正では「暑さ指数 28 以上（WBGT）又は摂氏 31 度以上」という基準が明確に定められました。おかげで温度計や携帯用 WBGT 計測器が飛ぶように売れてます。スマホのアプリにもありますが。またお菓子の会社も業務用塩タブレットを増産しています。えらい景気のエエ話、と言ったらまた怒られるかな。

社労士事務所アジュール 高 龍 弘

燃料カードの価格表【2025 年 6 月分】

AMSカード ※共通利用可能

油 種	ENEOS・Shell・COSMO
レギュラー	160.0 円
ハイオク	170.0 円
軽 油	142.0 円

【価格は税抜】

ENEOSビジネスカード

油 種	ENEOS
レギュラー	163.0 円
ハイオク	173.0 円
軽 油	137.0 円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油 種	COSMO	ENEOS	宇佐美
レギュラー	151.9～153.9 円	153.7～155.7 円	152.3～154.3 円
ハイオク	161.9～163.9 円	163.7～165.7 円	162.3～164.3 円
軽 油	126.9～128.9 円	131.2～133.2 円	129.4～131.4 円

【価格は税抜】

全国共通・燃料カード ※カードはメーカーごとに発行

油 種	ENEOS ウイング	FLEX & TRUST カード (Shell)	宇佐美 U1	エネクスフリート
レギュラー	151.2～153.2 円	153.8～155.8 円	154.4～156.4 円	149.6～151.6 円
ハイオク	161.2～163.2 円	163.8～165.8 円	164.4～166.4 円	159.6～161.6 円
軽 油	125.1～127.1 円	131.3～133.3 円	126.6～128.6 円	126.6～128.6 円

【価格は税抜】